

令和5年度

社会福祉法人天童市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人天童市社会福祉協議会

～ 共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童 ～

<http://www.tendo-shakyo.or.jp>

目 次

1	総括	1
2	重点項目	2
3	事業概要	
(1)	地域福祉事業・ボランティア活動の推進	3
(2)	生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施	14
(3)	共同募金活動	19
(4)	天童市地域包括支援センター中央の運営	21
(5)	介護サービス事業所の運営	28
(6)	天童市総合福祉センターの管理・経営	31
(7)	法人組織の管理・運営等	33
4	別表 1	
	令和 5 年度天童市総合福祉センター利用状況	38

総 括

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度は、活動の人数や飲食等の制限が解除された中で、本協議会としても適宜・適切に状況を確認しながら、マスク着用等の感染予防対策を継続した上で、積極的に活動を展開しました。

【第二次天童市地域福祉活動計画の見直し】

当該計画については、令和5年度が中間年度に当たるため、策定後に生じた新型コロナウイルス感染拡大等による社会情勢の変化や福祉制度等の改正を踏まえ、令和2年度から令和4年度までの進行状況を確認するとともに、令和6年度から令和7年度に取り組む事業を整理するための見直しを行いました。

こうした中、いきいきサロンや地域カフェ推進事業などについては、コロナ禍前の状況に戻そうと取り組む各団体に対して、積極的に運営支援を行いました。

【生活自立支援センター・地域包括支援センター等の運営】

生活困窮者支援を通じた地域づくりを目標に、生活困窮者支援の早期把握や見守りのための地域ネットワークを構築するため、各関係機関を参集した運営会議や、周知活動を行いました。また、高齢者の方々が、心身の状態に応じて、必要な支援を切れ目なく受けることができるよう、多職種による支援を行いました。さらに、令和6年度から新たに取り組む重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備作業を推進しました。

【介護保険事業】

「介護予防支援事業」と「居宅介護支援事業所」、「訪問介護サービス事業所」を運営し、高齢者と障がい者の立場に立った、質の高いサービスの提供に努めるとともに、収益の確保を図り、健全経営に努めました。特に、コロナ感染対策を徹底しながら、サービスの継続に努めました。

【ボランティア活動】

幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行った結果、除雪やごみ拾い、募金等のボランティア活動を実施し、活動機会を提供するとともに助け合い活動を推進しました。

「災害ボランティアセンター」に関しては、山形県・天童市合同総合防災訓練において、ストックヤード見学やセンター設置運営訓練を実施するなど、頻発する自然災害への備えを強化することが出来ました。

【法人組織の管理・運営】

関係法令と定款等を遵守するとともに、評議員会と理事会を開催して、適正性と透明性の確保を図りました。また、市総合福祉センターの管理・運営についても、指定管理に関する包括協定に従って適正な管理と市民が利用しやすい環境づくりに努めました。

以上、地域福祉を推進する中核組織としての自覚のもと、地域住民や行政、福祉事業者の皆さんと連携を図りながら、事業の積極的な展開と効率的な運営を行いました。

重点項目

1 「第二次天童市地域福祉活動計画」の実践と各種相談支援事業・福祉のまちづくりの推進

自助、互助、共助及び公助の取り組みによる地域生活課題の把握や地域共生社会の実現を理念に掲げ策定した「第二次天童市地域福祉活動計画」の中間見直しを行い、事業等を整理しながら、実践活動に取り組みました。また、生活支援コーディネーター事業では、生活支援・介護予防体制整備推進協議体と連携を図り、住民ニーズと提供主体のコーディネーター業務等を実施しました。さらに重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備事業に取り組みました。

2 地域包括ケアに係る地域づくりの推進

新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、相談対応やモニタリング、担当者会議開催時は、感染予防のために短時間での意志疎通、状態把握に努め、安否確認と廃用症候群予防を兼ねて、一人暮らし高齢者訪問事業を実施しました。

介護支援専門員等の研修においては、状況に応じて、集合型と ZOOM ミーティングによるオンラインでの研修開催を行い、さらに認知症の方にやさしい地域づくりに寄与するため、学生や団体向けの認知症サポーター養成講座開催に努めました。

3 利用者本位の支援と災害時等における事業継続の取組み

居宅介護支援事業所及び訪問介護サービス事業所は、介護保険や障がい者支援等の各制度に基づき、利用者が望む生活、自立した生活を支援するため、法令遵守及び公正公平な対応に配慮して適正運営に努めました。

また、感染症流行時等でも事業継続ができるよう、業務継続計画書（BCP）の作成を行いました。

4 天童市総合福祉センターの管理・経営

水回りの修繕や誘導灯、照明器具等を修理するなど、良好な設備環境による適切な管理・経営に努めながら、利用者の要望に沿うとともに、経費節減に基づく効率的な運営を旨として、市総合福祉センターの管理運営を行いました。令和5年度は、屋内運動広場の大規模工事がありましたが、工事関係者との連絡を密にして、利用者の安全や快適性に配慮しながら貸館を行いました。

また、衛生環境整備や利用者への声掛けにより、感染症予防に努めました。

5 法人組織の適正な管理と経営改善に向けた取組み

経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上のため、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営を行いました。また経費の節減等を行い、経営改善に努めました。

さらにホームページ、X（旧ツイッター）、ユーチューブチャンネルのアカウントを開設し、法人事業の広報に取り組みました。

事業概要

1 地域福祉事業・ボランティア活動の推進

(1) 地域福祉ネットワーク活動

ア 地域社会福祉協議会の支援・充実

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあう「福祉コミュニティ」を実現することを目的とした地域社会福祉協議会の運営支援に努めました。

地域社会福祉協議会会議を2回開催し、情報交換や協議を行いながら、地域社会福祉協議会の行事等への参加、社会福祉協議会費や共同募金集金の協力、歳末たすけあい配分委員会への協力等、活動全般に協力しました。

- 1 地域社会福祉協議会会議期日等
 - (1) 8月7日 21名参加
 - (2) 1月22日 21名参加
- 2 地域社会福祉協議会の共通活動
 - (1) 市福祉推進員活動の支援
 - (2) いきいきサロン活動・地域カフェ推進事業・子育てサロン
 - (3) 共同募金・歳末たすけあい運動の協力
 - (4) 社会福祉協議会費・日本赤十字社会費集金協力
 - (5) 福祉活動の啓発・情報提供
 - (6) 福祉関係機関との連絡・調整

イ 天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や市民生委員・児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う市福祉推進員の活動を支援しました。

- 1 市福祉推進員委嘱状況 331名（昨年度333名）
天童南部48名、天童中部76名、天童北部38名、成生22名、蔵増18名、寺津14名、津山23名、田麦野3名、山口18名、高嶺22名、長岡29名、干布15名、荒谷5名
- 2 任期 令和4年4月1日から令和6年3月31日
- 3 新任者研修会 5月25日 午後7時～8時10分 32名参加
- 4 市福祉推進員の共通活動
 - (1) 見守り、声かけ、話し相手に関すること
 - (2) 安否の確認、緊急時の連絡等に関すること
 - (3) たすけあい、ささえあいの機運づくり等に関すること
 - (4) 地域福祉事業等への参加・協力に関すること
 - (5) その他地域福祉の推進に関すること

ウ いきいきサロン事業の充実・普及

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場であるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や市民生委員・児童委員、市福祉推進員等の支援を得て、運営支援を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

市社会福祉協議会事務局では、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努め、市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、情報提供等の支援を行いました。

また、感染対策についての研修会や情報交換、広報誌を発行しながら、情報提供に努めました。

- 1 いきいきサロン開設数 59ヶ所（昨年度62ヶ所）
 - (1) 町内会単位 54ヶ所（昨年度58ヶ所）※休止6ヶ所（昨年度9ヶ所）
三日町、南小畑、南町、上北目、田鶴町、五日町、久野本東2区（休止）、久野本東3.4区、久野本東7区、久野本東9区、久野本東10区、久野本東16区、久野本、糠塚、柏木、泉町、東本町、老野森、綿掛、小路、東交り江、本町（休止）、乱川、北久野本1丁目、北久野本2丁目、北久野本3丁目、北久野本4丁目、北久野本5丁目、天童原、もみじ団地、大清水、大町、西交り江、今町（休止）、向原、成生、小関、高木、蔵増北部、矢野目、蔵増南、温泉、寄的、若松、下貫津、道満、原崎、芳賀（休止）、高嶺北（休止）、楯之内（休止）、にれの木団地、高嶺1.2、上荻野戸、原町
 - (2) 市立公民館単位 5ヶ所（昨年度5ヶ所）
寺津、田麦野、長岡（2ヶ所）、荒谷
- 2 一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン 50ヶ所（昨年度46ヶ所）
- 3 解散サロン 3ヶ所（昨年度1件）
久野本東12.13区、清池、八千代台
- 4 いきいきサロン活動への支援
 - (1) 各種講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）
 - (2) 開設・運営の打ち合せ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）
- 5 歩（ふ）れあいだよりの発行
 - (1) 配布先
ア いきいきサロン
イ 地域カフェ他
 - (2) 内容
ア Vol.9（6月発行）
合同研修会報告、福祉バスの利用方法、新設地域カフェ（よばりん）紹介、歩くし出前講座紹介他
イ Vol.10（11月発行）
健康福祉まつり報告、サロン・カフェ取材記事、共同募金紹介、ふれあいまちづくり講座紹介他
ウ Vol.11（3月発行）
報告書提出依頼、サロン・カフェ取材記事、フードドライブの提供、地域食堂紹介、ふれあいまちづくり講座紹介他
- 6 いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会

- (1) 期日 5月23日
- (2) 参加者 47名参加
- (3) 内容
 - ア 説明 「令和5年度以降の敬老事業について」(市社会福祉課調整係)
 - イ 講義 「通いの場における新型コロナウイルス感染予防対策について」
(市保険給付課介護支援係)
 - ウ 情報交換

エ 地域カフェ推進事業の実施

平成29年10月より、市の委託を受けて、介護保険総合事業の地域介護予防活動支援事業の枠組みにより、各地域に高齢者を中心とする集いの場を設け、交流及び介護予防の機会を提供する「地域カフェ推進事業」の運営支援に努めました。

地域(市立公民館区域)を拠点に、月1回以上の集いの場を開催、地域外の高齢者の参加も可能とすることで、町内会での開催を中心とした「いきいきサロン」事業との相乗効果を図りました。

また、感染対策についての研修会や情報交換、広報誌を発行しながら、情報提供に努めました。

- 1 地域カフェ推進事業開設数と主な内容 12ヶ所(昨年度11ヶ所)※休止0ヶ所(昨年度1ヶ所)
 - (1) 天童南部「ふれあい南部茶屋」
 - (2) 天童中部「くらつ川」
 - (3) 老野森「たんときてけろ」
 - (4) 糠塚「さくらカフェ」
 - (5) 天童北部「いるばある」
 - (6) 蔵増「蔵」
 - (7) 寺津「うたごえ喫茶」
 - (8) 上貫津「龍神の里カフェ」
 - (9) 田麦野「すみれ会」
 - (10) 山口「お茶のみ処」
 - (11) 高揃「こっ茶来い」
 - (12) 干布「よばりん」 図
- 2 地域カフェ推進事業への支援活動
 - (1) 開設時準備作業への協力(打合せへの参加他)
 - (2) 開設日時の市報掲載への協力
 - (3) 保険加入支援・講師等の紹介
- 3 いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会
 - (1) 期日 5月23日
 - (2) 参加者 10名参加
 - (3) 内容
 - ア 説明 「令和5年度以降の敬老事業について」(市社会福祉課調整係)
 - イ 講義 「通いの場における新型コロナウイルス感染予防対策について」

オ 生活支援コーディネーターの配置

天童市生活支援・介護予防体制整備推進協議体を開催し、住民ニーズと提供主体のマッチングや連携及び調整を行いました。また、天童市住民助け合い活動養成講座の受講生を中心に結成した「天童びすけっと（微助っ人）会」の活動をサポートし、住民主体の支え合い活動の推進に努めました。また、自立支援型地域ケア会議に参加し、個別事例の検討において行う課題分析等を通じて、地域に共通するニーズ等の情報収集や社会資源の情報提供に努めました。

1 生活支援・介護予防体制整備推進協議体

(1) 期日

ア 6月20日

イ 2月7日

(2) 委員数 9名

(3) 内容

ア 地域支援事業・高齢者生活支援事業について

イ いきいきサロン・地域カフェ推進事業の現状について

ウ 社会資源ガイドブック Vol.2について

エ 住民助け合い活動養成事業（天童びすけっと（微助っ人）会）について

オ 第2層生活支援コーディネーター・第2層協議体について

2 自立支援型地域ケア会議への参加 8回（昨年度12回）

3 天童びすけっと（微助っ人）会

(1) 回数 12回

(2) 参加者 平均11名

(3) 内容

ア 「身近な地域での福祉活動を進めるための担い手養成研修（3/9）」の報告

イ 生活支援（有償の助け合い）としての外出支援の取り組み（加藤由紀子氏）

ウ ふれあい天童の移動支援（7/11）の動画視聴（事務局製作）

エ 講話（尾花沢市社協菅藤生活支援コーディネーター）

オ 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2023」へのボランティア参加

カ いきがい・助け合いオンラインフェスタ2023「生活支援（有償ボランティア）の広げ方」の視聴

キ 天童市高齢者生活支援事業について（保険給付課四釜主査）

ク 社会資源（認知症カフェあったかフェテンドウ）への参加

ケ 講話（地域食堂・子ども食堂の主催者）他

カ 社会福祉法人連絡会活動

4年ぶりに集合による社会福祉法人連絡会会議を開催し、社会福祉法人相互の情

報交換を行いました。また、地域福祉の推進に係る地域住民等との連携及び地域における福祉人材の育成等を目的として、職員を講師として派遣する天童の歩（ふ）くし出前講座やいきいき・ふれあい健康福祉まつりにおいて、福祉なんでも相談コーナーを開設しました。

1 幹事会

- (1) 期日 8月25日
- (2) 参加法人 3社会福祉法人
 - ア 天童福祉厚生会
 - イ 天童まいづる会
 - ウ 小百合保育園

2 会議

- (1) 期日 11月7日
- (2) 内容
 - ア 天童市社会福祉法人連絡会の会長及び副会長の選任について
 - イ いきいき・ふれあい健康福祉まつり2023について
 - ウ 天童の歩（ふ）くし出前講座について
 - エ 行政説明「天童市における重層的支援体制整備事業について」（天童市健康福祉部社会福祉課）
 - オ 研修「怒りの感情とメンタルヘルスケアの関係性」（smile ring）
- (3) その他
 - ア 天童市社会福祉法人連絡会アンケートの結果について
 - イ 県共同募金会地域福祉・在宅配分について

3 天童の歩（ふ）くし出前講座

- (1) 登録法人 8社会福祉法人
山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいづる会、つるかめ、にこにこ子どもの家、虹の会、市社会福祉協議会
- (2) 登録講座数 23講座
いつまでも自分の足で歩けるように！、コーヒー講座、体験してみよう「いきいき100歳体操」「しゃんしゃん体操」「ロコトレ」、知って得する介護保険サービス、精神障がいを理解しよう、みんなで遊ぼう～大人も子どもも楽しめる手遊びとふれ合い遊び～他
- (3) 開設数 24回（昨年度16回）

4 福祉なんでも相談コーナー

- (1) 期日 10月14日（いきいき・ふれあい健康福祉まつり2023開催時）
- (2) 参加法人数及び参加職員数 8法人13名
- (3) 相談件数 6件

6 会員法人 市内に所在地を置く14社会福祉法人

山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいづる会、睦会、羽陽の里、みらい、つばさ会、つるかめ、星和学園、にこにこ子どもの家、虹の会、つくし保育園、市社会福祉協議会

市母子寡婦福祉連合会の子ども食堂等や地域社会福祉協議会の子育て支援活動と協力しながら、親子の集いや子どもたちの遊びの場づくり、親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。

1 市母子寡婦福祉連合会共催事業

(1) 天童子ども食堂 4回（昨年度3回）

ア 7月23日 7世帯18名参加

イ 10月29日（芋煮会） 10世帯26名参加

ウ 12月10日（親と子のクリスマスパーティー） 18世帯43名参加

エ 1月28日（恵方巻づくり・天童庖祥会協力） 9世帯23名参加

(2) フードパントリー 5回（昨年度9回）

ア 期日 6月25日・7月15日・8月20日・12月24日
2月25日

イ 内容 食品や弁当の配布

2 子育て支援活動への助成

(1) 長岡地域社会福祉協議会「子育てサロンりんごっこ」

ア 開催日 毎月第2・第4木曜日

イ 開催回数 24回（昨年度24回）

ウ 内容 読み聞かせや季節行事、お誕生日会等

(2) 高嶺地域社会福祉協議会「おひさま」

ア 開催日 毎月第3水曜日

イ 開催回数 12回（昨年度12回）

ウ 内容 読み聞かせや季節行事、親子ふれあい遊び等

ク 地域食堂・子ども食堂の支援・充実

子ども食堂等の新規立ち上げ希望団体へは、お試し食堂の助成や他団体の助成金に関する情報提供、協力団体の紹介等を通して、取り組みやすく継続できるような運営支援を行いました。また、既存の地域食堂については、寄附金等の仲介やフードドライブからの食品等の提供、助成金等に関する情報提供及び協力団体の紹介等を通じた運営支援に努めました。

1 子ども食堂・地域食堂への支援・協力

(1) 開設数 4ヶ所（昨年度3ヶ所）

ア 天童こども食堂

イ りごら食堂

ウ みんなの居場所「げんきか〜い」

エ ハッピースマイルの会地域食堂圏

(2) 支援内容

ア お試し食堂の助成金交付

イ 寄附金等の仲介

ウ フードドライブを活用した食材等の提供支援

エ 広報活動を通じた市民への周知活動

オ 他団体の助成金に関する情報提供

(2) 社会福祉啓発と福祉人材の育成

ア 社会福祉協議会だより発行やホームページの活用

本会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域の問題を取り入れながら、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。また、X（旧ツイッター）での迅速な投稿やホームページにユーチューブ（動画）をアップし、音声等の多くの情報を伝えながら印象に残る情報発信に努めました。

1 社会福祉協議会だより（年4回発行）

(1) 配布先

- ア 市内全世帯 約23,000世帯
- イ 福祉関係施設等 県内約100施設

(2) 内容

ア Vol.189（6月15日発行）

事業報告・収支決算、ボランティアセンター、天童市社会資源ガイドブック、ボランティアサークルnico こえ、ほしぬのカフェ「よばりん」他

イ Vol.190（10月1日発行）

災害ボランティアセンター、共同募金お願い、地域包括支援センター紹介、市成年後見センター紹介、健康福祉まつり紹介他

ウ Vol.191（1月15日発行）

健康福祉まつり、新年会長挨拶、福祉功労者表彰紹介、介護サービス事業所紹介、生活福祉資金案内、福祉体験紹介他

エ Vol.192（3月15日発行）

天童高校「指文字カード」、共同募金実績報告、市生活自立支援センター案内、福祉サービス利用援助事業案内、施設ボランティア募集他

2 社会福祉協議会会費集金用チラシ（7月発行）

(1) 配布先 市内全世帯 約23,000世帯

(2) 内容 事業内容及び予算状況

イ いきいき・ふれあい健康福祉まつり2023の企画・開催

新たにスローガンを掲げながら、市民の健康と福祉の祭典にふさわしい、誰もが楽しく参加し、健康や福祉を学ぶことができるコーナーを開催しました。

1 日時 10月14日（土）※文化祭のみ10月15日

2 スローガン 「体験！けんこう・ふくしを学ぶ！！」

3 会場・内容

(1) 市総合福祉センター

ア 大会開会式（天童市社会福祉功労者表彰）

イ 体験型ウォークラリー^①

ウ 文化祭・体験型文化祭^②

エ 縁日広場

- オ 福祉なんでも相談
- カ フードドライブ受付
- キ 手話体験圃
- ク 簡単料理教室圃
- ケ 体力測定圃
- コ あったかフェテんどう
- サ 昔遊び圃
- シ 子どもの遊び広場

(2) 市健康センター

- ア 食育体験コーナー圃
- イ Tendo すこやか My 進事業コーナー圃
- ウ Re play! TENDO 出張ミニ講座圃
- エ ヘルスチェックコーナー圃

4 参加人数 約800名

- (1) 市総合福祉センター 約600名
- (2) 市健康センター 約200名

ウ 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を経て、健康福祉まつり開会式の機会に表彰を行いました。

1 市社会福祉功労者表彰審査会

- (1) 期日 8月28日
- (2) 委員数 7名

2 天童市社会福祉功労者表彰式

- (1) 期日 10月14日
- (2) 個人 3名（昨年度15名）
後藤久彌様、今野 滋様、酒井二三子様
- (3) 団体 1組（昨年度0組）
オカリナサークル“風”様

エ ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録及び派遣を行いました。また、広報誌に掲載し講座の周知や講師の人材発掘に努めました。

1 登録講師 個人・団体 41講師（昨年度36講師）

2 講座内容 健康講話、音楽療法、手話指導、軽体操、昔語り、マジック、大道芸、楽器演奏、落語、押し花、知的・発達障がい疑似体験、ヨガ等

3 派遣実績

- (1) 件数 97件（昨年度64件）
- (2) 派遣場所 いきいきサロン、地域カフェ推進事業、地域社会福祉協議会、

福祉施設、小学校、市老人クラブ連合会、市立公民館、更生保護女性会、地域食堂等

オ 福祉のこころ実践校事業の実施

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。また、福祉体験学習メニューブックのリニューアルを行いながら、学習内容の相談や講師派遣、備品貸出等の福祉体験学習のためのサポートに努めました。

1 福祉のこころ実践校活動 9校（昨年度8校）

(1) 学校名 天童南部小・天童中部小・成生小・蔵増小・寺津小・津山小
山口小・高掬小・長岡小

(2) 補助金合計額 280,000円（昨年度260,000円）

2 福祉体験学習

(1) 天童南部小 高齢者施設訪問・高齢者施設及び幼稚園児等との交流イベント・募金活動・ボッチャ体験

(2) 天童中部小 募金活動

(3) 成生小 福祉施設入所者との交流、募金活動

(4) 蔵増小 手話体験・募金活動

(5) 寺津小 地域との交流（干し柿作り・いきいきサロンでの総合学習発表）

(6) 津山小 いきいきサロン等へのDVD（湯の上太鼓・学習発表会の様子を録画）配布・高齢者等との交流（竹飾りやだんご木作成）

(7) 山口小 ボッチャ体験・募金活動

(8) 高掬小 車いす体験・手話体験・認知症サポーター養成講座・募金活動

(9) 長岡小 高齢者への手紙配布・ボッチャ体験

カ 介護職員初任者研修受講助成事業

社会福祉協議会だより、ホームページにて広報に努めましたが、申請希望者がありませんでした。

キ 実習生の受入れ

社会福祉士等を目指す学生を中心に地域福祉の実践や相談援助のあり方、他機関との連携等の社会福祉協議会の業務に対する理解と人材育成を目的として実習生の受入れを行いました。

1 実習生 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科4年生

(1) 人数 2名（昨年度1名）

(2) 期間等 7月3日～8月4日 24日間 180時間

(3) ボランティア活動の育成

ア ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、社会福祉協議会だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。また、「びゅーていふる■てんどう」をスローガンとして、除雪やゴミ拾い、募金等のボランティア活動を実施し、活動機会を提供するとともに助け合い活動を推進しました。

なお、村山地域ボランティアの輪連絡会の幹事社協として、ボランティア活動の活性化や市町村を超えた相互の連携強化に向けた研修会等を開催しました。

また、新規事業として、ボランティアの協力を得て、紅葉狩りの時期に県総合運動公園で車イス貸出事業を行いました。足の不自由な方も安心して外出できるまちづくりを目指しました。

1 ボランティア登録

- (1) 個人 10名（昨年度13名）
- (2) 団体 52団体（昨年度55団体）

2 ボランティア相談対応

- (1) 周知及び活動依頼（ボランティアの紹介・参加協力依頼）
- (2) 活動希望（活動先の紹介）
- (3) ボランティア団体への支援
- (4) ボランティア団体活動費助成事業の実施
- (5) ボランティア室の設置、ロッカー貸出

3 天童建設総合組合による家屋補修事業

- (1) 期日 6月25日
- (2) 件数 4件（昨年度6件）

4 ボランティア活動

- (1) 天童夏まつりゴミ拾いボランティア

ア 期日 8月10日

イ 参加者 114名

- (2) モンテディオ山形公式戦共同募金街頭募金ボランティア

ア 期日 10月8日・29日

イ 参加者 17名（羽陽学園短期大学、創学館高校）

- (3) 車イス貸出事業 in 県総合運動公園

ア 期日 11月2日・9日（13日は悪天候のため中止）

イ ボランティア参加者 4名

ウ 利用者 3名

- (4) 除雪ボランティア

ア 期日 1月14日

イ 参加者 14名（創学館高校他）

ウ 内容 田麦野地域の現状説明と交流施設ぽんぽこ等の見学に変更

5 各種団体等のボランティア活動への協力

- (1) 創学館高校車いすメンテナンスボランティア
- (2) 山形県青年の家（ボランティアサークル nico こえ）

6 村山地域ボランティアの輪連絡会

- (1) 会議

ア 第1回村山地域ボランティアの輪連絡会会議

- (ア) 期日 7月7日
- (イ) 開催方法 オンライン形式
- (ウ) 参加者数 17名

イ 第2回村山地域ボランティアの輪連絡会会議

- (ア) 期日 3月7日
- (イ) 会場 市総合福祉センター
- (ウ) 参加者数 16名
- (エ) 研修 演題 YY ボランティアサークル・青年地域活動団体について
講師 山形県青年の家・ボランティアサークル nico こえ

(2) ボランティア研修会

ア 天童市災害ボランティアセンター設置運営訓練への参加

- (ア) 期日 9月10日
- (イ) 会場 市スポーツセンター
- (ウ) 参加者数 17名

イ 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

災害ボランティアセンター設置マニュアルをもとに、行政や県社会福祉協議会、天童青年会議所、NPO、村山地域ボランティアの輪連絡会等と協力して、有事に備えてボランティア活動支援等の訓練を山形県・天童市合同防災訓練時に実施しました。

1 災害ボランティアセンター設置訓練

(1) 事前打合

- ア 期日 8月8日
- イ 参加者 7名

天童青年会議所、山形県隊友会天童支部、市危機管理室、県社会福祉協議会

(2) 実施訓練

- ア 期日 9月10日（山形県・天童市合同防災訓練において実施）
- イ 場所 市スポーツセンターグラウンド

ウ 訓練内容

- (ア) スtockヤード見学（山形県トラック協会）
- (イ) 運営訓練
 - a 受付班
 - b マッチング班
 - c 資機材班
 - d 報告班

エ 参加協力者 31名

ウェザーハート災害福祉事務所、天童青年会議所、山形県隊友会天童支部、県社会福祉協議会、村山地域ボランティアの輪連絡会

2 生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施

(1) 天童市生活自立支援センターの運営

「生活困窮者自立支援法」に定められた必須事業である自立相談支援事業の委託を受けて、生活困窮者に対し、本人の自己選択、自己決定を基本にしつつ、必要な支援を受けながら、経済的自立だけではないその人なりの自立を目指し、住居確保給付金及び諸福祉制度等を活用しながら相談支援にあたりました。

生活困窮者支援を通じた地域づくりを目標に、生活困窮者支援の早期把握や見守りのための地域ネットワークを構築するため、各関係機関を参集した運営会議や、周知活動を行いました。

1 自立相談支援事業

(1) 新規相談件数（実人数） 190件（昨年度193件）

(2) 自立支援プラン作成数 9件（昨年度18件）

(3) 支援実績（延件数）

ア 電話相談・連絡 1,167件（昨年度786件）

イ 他機関との連絡調整 683件（昨年度515件）

ウ 面談 498件（昨年度618件）

エ 訪問及び同行支援 177件（昨年度124件）

(4) 支援調整会議

ア 回数 11回（昨年度12回）

イ 期日 4月13日・5月8日・6月5日・7月5日・8月4日
9月5日・10月5日・11月6日・12月5日・1月5日
2月9日

(5) 運営会議

ア 期日 3月19日

イ 参集者 13名

山形公共職業安定所、日本司法支援センター山形地方事務所、山形地域若者サポートステーション、医療法人社団斗南会秋野病院、天童市放課後児童クラブ連絡協議会、市障がい者自立支援協議会相談支援部会、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

2 住居確保給付金

(1) 相談件数（実人数） 29件（昨年度33件）

(2) 申請件数（実人数） 2件（昨年度7件）

ア 新規 2件（昨年度7件）

イ 延長 0件（昨年度2件）

3 周知活動

福祉推進員新任者研修（5月25日）・歳末たすけあい配分委員会（市内13地域12月6日～8日）・地域社会福祉協議会会議（1月22日）・社協だより（3月15日号）

(2) 天童市多機関協働支援センターの運営

市から委託を受けて、介護や障がい、育児、生活困窮等の複合的な問題を抱える世帯やどこに相談したらよいか分からないといった制度の狭間の問題を抱える世帯の相談を受け、関係機関のコーディネートを行い、複雑化した課題の解決に努めながら、令和6年度からの新たな重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備事業を実施しました。

また、市内関係機関等への周知活動を通し、相談支援のネットワーク構築に努めました。

- 1 新規相談件数（実件数） 53件（昨年度68件）
- 2 支援実績（延件数）
 - (1) 電話相談・連絡 330件（昨年度410件）
 - (2) 訪問及び同行支援 72件（昨年度88件）
 - (3) 面談 171件（昨年度220件）
 - (4) 他機関との連絡・調整 270件（昨年度298件）
 - (5) ケース会議（支援調整会議含む） 19件（昨年度17件）
- 3 運営会議（相談支援包括化推進会議）
 - (1) 期日 3月19日
 - (2) 参集者 13名

山形公共職業安定所専門援助部門、日本司法支援センター山形地方事務所、山形地域若者サポートステーション、医療法人社団斗南会秋野病院、天童市放課後児童クラブ連絡協議会、山形コロニー天童相談支援センター、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

4 周知活動

福祉推進員新任者研修（5月25日）、市社会福祉法人連絡会会議（11月7日）、歳末たすけあい配分委員会（市内13地域12月6日～8日）、第2回地域社会福祉協議会会議（1月22日）・社協だより（6月15日号）

(3) その他の相談援助事業の実施

ア 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方、日常生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関や他制度と調整しながら、金銭管理や通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

- 1 利用者 24名（昨年度19名）
 - (1) 高齢者 13名（昨年度9名）
 - (2) 知的障がい者 4名（昨年度5名）
 - (3) 精神障がい者 7名（昨年度5名）

- 2 サービス支援回数 310回（昨年度302回）
- 3 相談及び連絡調整回数 延1,799回（昨年度1,634回）
- 4 新規相談件数（延件数） 22件（昨年度31件）
- 5 新規契約件数 9件（昨年度5件）
- 6 支援内容 通帳等預かりや生活費の払出、金銭等に関わる相談支援、福祉サービス利用料等の支払い、口座振替等の手続

イ 法人後見業務・成年後見センター事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がい等の理由で判断能力の不十分な方に対して、本会が法人として成年後見人等に就任し、財産管理や身上保護を通して支援を行いました。なお、法律関係者や医療関係者、福祉関係者、行政関係者、学識経験者で構成した運営委員会を開催し法人後見事業の適正な運営を図りました。

また、市から成年後見センター事業の委託を受けて、成年後見制度の利用相談や必要に応じて本人及び親族の家庭裁判所に対する申立て手続の支援の他、周知活動を実施し、制度の利用促進に努めました。

1 法人後見事業

- (1) 新規受任件数 1件（昨年度4件）
- (2) 終了件数 1件（昨年度1件）
- (3) 受任合計数 7件（昨年度7件）
- (4) 運営委員会

ア 期日 12月19日

イ 委員数 5名

2 成年後見センター事業

- (1) 成年後見制度に関する相談支援（実件数） 38件（昨年度41件）

ア 制度全般に関する相談 14件（昨年度17件）

イ 制度利用及び申立てに関する相談 10件（昨年度12件）

ウ ケース方針調整会議の相談 11件（昨年度10件）

エ 金銭・財産についての相談 1件（昨年度0件）

オ 将来に対する不安についての相談 1件（昨年度0件）

カ その他 1件（昨年度2件）

- (2) ケース方針調整会議

ア 会議開催回数 6回（昨年度7回）

イ 調整ケース件数 11件（昨年度10件）

ウ 受任団体

(ア) 山形県弁護士会 0件（昨年度0件）

(イ) 成年後見センターリーガルサポート山形支部（山形県司法書士会）
1件（昨年度2件）

(ウ) 成年後見センターぱあとなあ山形（山形県社会福祉士会） 6件（昨年度3件）

(エ) 本会法人後見 1件（昨年度2件）

(オ) 複数後見（リーガル・市社協） 1件（昨年度0件）

(カ) その他 2件 (昨年度3件)

(3) 周知活動

福祉推進員新任者研修 (5月25日)、社協だより (10月1日号)、歳末たすけあい配分委員会 (市内13地域12月6日～8日)、地域社会福祉協議会会議 (1月30日)

ウ 生活福祉資金・たすけあい資金の貸付及び償還指導

主に低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に民生委員・児童委員及び行政と連携しながら、生活費や修学費用等の貸付を行いました。さらに、令和2年3月から令和4年9月まで実施した新型コロナウイルス特例貸付について、コロナ禍以降も生活の立て直しが困難となっている方々に対しては、償還免除や償還猶予などの手続きを行い、生活維持の支援に努めました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、面接相談会の開催等により生活状況把握及び償還指導を強化しました。

1 生活福祉資金

(1) 貸付状況

ア 新規相談件数 (実件数) 54件 (昨年度39件)

イ 相談件数 (延件数) 352件 (昨年度256件)

ウ 貸付件数 15件 (昨年度26件)

(2) 償還状況

ア 償還完了 2件 (昨年度14件)

イ 償還免除 0件 (昨年度2件)

ウ 貸付件数 203件 (昨年度189件)

(ア) 償還開始前 47件 (昨年度38件)

(イ) 順調償還 (直近で滞納回数0～2回) 87件 (昨年度70件)

(ウ) 滞納 69件 (昨年度81件)

(3) 償還指導

ア 対象 58件 (昨年度61件)

イ 償還面接相談会

(ア) 期日 11月30日

(イ) 件数 0件 (昨年度2件)

ウ 面接日変更 5件 (昨年度1件)

エ 訪問 19件 (昨年度29件)

オ 電話 4件 (昨年度4件)

2 生活福祉資金特例貸付 (新型コロナウイルス特例)

(1) 償還状況

ア 償還免除 241件

(ア) 緊急小口資金特例貸付 137件

(イ) 総合支援資金特例貸付 104件

イ 償還猶予 37件

(ア) 緊急小口資金特例貸付 22件

- (イ) 総合支援資金特例貸付 15件
- 3 たすけあい資金貸付状況
- (1) 貸付件数 18件 (昨年度8件)
- (2) 償還完了 17件 (昨年度7件)
- (3) 償還中 17件 (昨年度16件)

エ ささえあい相談所(法律相談)

市民の法律に関する日常生活上の困りごとや心配ごとの解決に向け、身近で気軽な相談の場を提供するため、山形県弁護士会より会員を派遣いただき、弁護士による無料法律相談会を開催し法律トラブルへの初期対応を図りました。

- 1 無料法律相談会
- (1) 開催日 毎月第2水曜日
- (2) 開催時間 午後1時30分から午後4時 ※1人30分
- (3) 相談件数 54件 (昨年度47件)
- 2 相談内容 債務や金銭の貸借、離婚、相続、調停等

オ フードバンク・フードドライブ・フードパントリー事業の実施

個人及び団体より供与いただいた食品等を生活困窮者等の必要と認められる世帯や地域社会福祉協議会及び通いの場等における調理を伴う交流会、ボランティア活動者等に提供を行うフードバンク、フードドライブ事業を実施しました。

- 1 供与件数 72件 (昨年度177件)
- (1) フードドライブ 72件 (昨年度176件)
- ア 個人 60件 (昨年度144件)
- イ 団体 12件 (昨年度32件)
- 退職女教員の会、來運寺、共立社天童生協、即圓寺、おーばんホールディングス、東北電力、山形信用金庫、天童市役所、JAてんどう女性部、北部地域民生児童委員会
- (2) 福わたし 0件 (昨年度1件)
- 2 提供先 211件 (昨年度218件)
- (1) 生活困窮者 163件 (昨年度168件)
- (2) 子ども食堂・地域食堂 5件 (昨年度12件)
- (3) 学習支援教室及び母子寡婦福祉連合会 1件 (昨年度3件)
- (4) 通いの場 2件 (昨年度0件)
- (5) 福わたし 0件 (昨年度9件)
- (6) 地域包括支援センター 5件 (昨年度0件)
- (7) 生活保護受給者 12件 (昨年度8件)
- (8) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等への食料品等の支援 0件 (昨年度3件) ※令和4年度末で終了
- (9) その他 23件 (昨年度15件)

カ 避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、県内に避難されている避難者の方々の安定した日常を確保するとともに、円滑な帰還や定住、生活再建を支援するため、県社会福祉協議会の委託を受け、「避難者生活支援」事業に取り組みました。

2名の相談員を中心に、避難者の方々の地域での孤立防止及び社会参加の機会、仲間づくりを目的に、「訪問活動」「つどいの場づくり」を展開しました。また、各種関係機関との連携、情報収集を図り、広報誌発行による避難者への情報提供を行いました。

1 訪問活動実績

- (1) 訪問回数 110回（昨年度97回）
- (2) 面接回数 30回（昨年度48回）
- (3) 訪問対象世帯 12世帯（昨年度16世帯）

2 避難者の集い（ちえっと寄れ茶）

- (1) 開催実績 6回 延43人（昨年度6回 延25人）
 - ア 4月18日 7名
 - イ 6月20日 6名
 - ウ 8月29日 5名
 - エ 12月15日 11名
 - オ 2月9日 8名
 - カ 3月6日 6名

- (2) 内容 お茶会を楽しみ、情報交換等を行う。

3 共同作業を通した仲間づくり

- (1) 開催実績 3回 延24名（昨年度3回 延14名）
 - ア 8月29日 5名
 - イ 12月15日 11名
 - ウ 2月9日 8名

- (2) 内容 りんごのマフィン&スイートポテト作り、クリスマスケーキ作り、どら焼き作り

4 関係機関との連携・協力

- (1) 山形県復興・避難者支援室（随時）
- (2) 市危機管理室（月1～2回）
- (3) 市生活自立支援センター（随時）
- (4) 市地域包括支援センター（随時）
- (5) ボランティア団体（随時）

3 共同募金活動

(1) 一般募金・歳末たすけあい募金への協力

社会福祉法人山形県共同募金会天童市共同募金委員会として積極的な共同募金運動を展開し、一般世帯や法人、学校、職域などの多くの方々からの理解と御協力を得ることができました。また、天童ひまわり園とコラボグッズを作成し、ホームページやSNS等で幅広い世代に広報し、積極的に募金活動に努めました。

1 一般募金

- (1) 募金額 9,094,524円(昨年度9,116,328円)
赤い羽根社会貢献及び災害対応自動販売機募金55,500円を含む
(昨年度56,283円)
- (2) 募金件数 19,485件(昨年度19,170件)

2 歳末たすけあい運動

- (1) 募金額 5,316,350円(昨年度5,204,400円)
- (2) 募金件数 17,057件(昨年度16,747件)
- (3) 歳末たすけあい色紙頒布会

ア 共催 宝樹社

イ 会場・期日

(ア) 市総合福祉センターホール 11月27日から12月5日

(イ) 市美術館ロビー 12月6日から12日

(ウ) 市役所1階市民ロビー 12月13日午後から20日

ウ 作品数 22点(昨年度22点)

(ア) 色紙 12点

(イ) ハガキ 10点

(ウ) 募金額(歳末たすけあい運動募金額に含む) 122,450円
(昨年度93,150円)

3 義援金

- (1) 能登地方地震災害・秋田大雨災害 147,267円 9件
(昨年度 11,617円 2件)

(2) 歳末たすけあい募金の適正配分

歳末たすけあい募金の戸別募金については、歳末たすけあい配分委員会担当学会議において、要支援世帯や地域福祉事業等への適正な配分のあり方等を検討し、各地域の配分対象基準の平準化や適正配分を実施いたしました。なお、篤志寄付についても実施いたしました。

1 歳末たすけあい募金戸別募金配分内容

- (1) 配分額 5,063,900円(昨年度5,076,250円)
- (2) 配分件数 708件(昨年度786件)
- (3) 歳末たすけあい配分委員会担当学会議期日 9月30日
- (4) 歳末たすけあい配分委員会

ア 日程 12月6日から8日まで

イ 開催回数 13地域毎に開催

- (5) 歳末たすけあい配分委員会委員

地域社会福祉協議会、市民生委員・児童委員、町内会、市福祉推進連絡会、市連合婦人会、小学校、中学校、市立公民館他

2 歳末たすけあい募金篤志寄付配分内容

- (1) 配分先等

ア	NPO法人ふれあい天童	80,000円
イ	市内子ども食堂(2件)	160,000円
ウ	天童市社会福祉協議会	12,450円

(3) 地域福祉活動推進プロジェクト(テーマ型募金)への協力

令和6年1月から3月まで山形県共同募金会にて、地域福祉推進活動に関する「テーマ型募金」を実施しました。(当市からの配分申請団体はありませんでした。)

4 天童市地域包括支援センター中央の運営

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談・支援体制の充実

高齢者のワンストップの相談窓口として、住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を営むことができるよう、あらゆる相談を受け止め、必要な支援を行う、あるいは関係機関、制度につなぐという相談支援の実施に努めました。

※相談件数は、延件数です。

- 1 相談件数 1,210件(昨年度1,467件)
 - (1) 介護保険関係、ケアマネ紹介及び申請代行 564件(昨年度630件)
 - (2) 医療との連携及び退院支援について 72件(昨年度103件)
 - (3) 困難事例(ア〜ク) 174件(昨年度255件)
 - ア 認知症高齢者世帯 24件(昨年度48件)
 - イ 精神・知的・身体障がい者等家族世帯 49(昨年度36件)
 - ウ 経済的困難 28件(昨年度15件)
 - エ 家族・親戚からの支援困難 17件(昨年度7件)
 - オ 支援受入拒否 22件(昨年度60件)
 - カ 地域からの孤立 12件(昨年度40件)
 - キ 利用できる施設不足 0件(昨年度0件)
 - ク 家族の介護力不足 22件(昨年度43件)
 - (4) 虐待 41件(昨年度14件)
 - (5) 虐待の可能性 49件(昨年度66件)
 - (6) 成年後見制度の活用、財産及び遺言関係 24件(昨年度19件)
 - (7) 消費者被害 0件(昨年度1件)
 - (8) その他 286件(昨年度379件)
- 2 受付形態別件数 911件(昨年度959件)
 - (1) 電話 602件(昨年653件)
 - (2) 訪問 83件(昨年度86件)
 - (3) 来所 211件(昨年度217件)
 - (4) 会議 15件(昨年度3件)

イ 在宅介護支援センターとの連携

地域の相談窓口の一つである在宅介護支援センターと連携し、情報共有及び同行訪問等により、地域の高齢者世帯に対して相談支援を行いました。

1 市在宅介護支援センター連絡会

(1) 開催回数 7回（昨年度12回）

(2) 参加者 保険給付課、地域包括支援センター（中央、めいこうえん）、在宅介護支援センター（清幸園、ラ・フォーレ天童、あこがれ）

ウ 地域におけるネットワークの構築

地域社会福祉協議会の研修会及び民生委員・児童委員協議会定例会への参加等、地域における関係者との連携強化を図り、地域の高齢者の見守り活動に係る意識啓発に努めました。

1 グループホーム等運営推進会議（7か所 2か月1回）の参加

2 地域密着型特別養護老人ホーム運営推進会議（3か所 2か月1回）の参加

3 第2回地域社会福祉協議会会議（1月22日）

4 北部地域民生委員・児童委員協議会定例会（6月5日）

5 市福祉推進員新任者研修（5月25日）

エ 地域包括支援センターニュース発行と充実

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に、民生委員・児童委員、市福祉推進員、関係機関（行政、交番・駐在所、医療機関）、公共機関（行政窓口、公民館等）及び介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

1 天童市地域包括支援センターニュース

(1) 配付先 民生委員・児童委員、市福祉推進員、自治会長、関係機関等（約800部）

(2) 掲載内容

ア 48号（7月発行）

地域包括支援センター、夏バテ予防、消費生活センター情報

イ 49号（11月発行）

人生会議、エンディングノート、冬バテ、消費生活センター情報

ウ 50号（3月発行）

成年後見制度、春の体調変化、消費生活センター情報

オ 地域支援事業申請に係わる支援及び調査等の代行業務

在宅介護や住み慣れた地域での高齢者の生活を支えることを目的に、福祉サービスの相談や申請代行、利用者調査、不在時の安否確認等を行いました。

1 乳酸飲料サービス事業

2 見守り配食事業

3 紙おむつ支給事業

4 軽度生活援助事業

5 緊急通報体制等整備事業

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域に暮らす高齢者が、心身の状態、状況に応じて、必要な支援を切れ目なく受けることができるよう、介護支援専門員等に対する個別の支援とともに、多職種による連携体制の構築や資質向上のための支援を行いました。

ア 地域ケア会議の開催

本人や関係者とともに個別の検討を中心としたケア会議や自立支援を目的とした専門職による自立支援型地域ケア会議を開催しました。

- | | | |
|---|-----------------------|-------------|
| 1 | 地域ケア会議の開催回数 | 10回（昨年度10回） |
| 2 | 自立支援型地域ケア会議（市主催）の開催回数 | 12回（昨年度12回） |

イ 主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、学習会や市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議を開催しました。

- | | | |
|-----|---------------|-------------------------------|
| 1 | 主任介護支援専門員会議 | 6回開催（昨年度5回） |
| (1) | 5月19日 | |
| ア | 内容 | これだけはしておきたいBCP（業務継続計画） |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 22名 |
| (2) | 7月14日 | |
| ア | 内容 | スーパービジョンモデルセッション |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 19名 |
| (3) | 11月15日（オンライン） | |
| ア | 内容 | 主任介護支援専門員会議の在り方、令和6年度活動計画について |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 22名 |
| (4) | 12月14日 | |
| ア | 内容 | 主任介護支援専門員会議の在り方、令和6年度活動計画について |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 22名 |
| (5) | 1月24日 | |
| ア | 内容 | 困難事例検討会 |
| イ | 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 21名 |
| (6) | 3月15日 | |
| ア | 内容 | 天童市地域密着型サービス事業者等集団指導への参加 |

ウ 介護支援専門員連絡会、介護サービス事業所連絡会の開催

市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の資質向上、介護サービス事業所の連携強化を目的として、介護支援専門員連絡会、介護サービス事業所連絡会を開催しました。

- | | | |
|-----|------------|-------------|
| 1 | 介護支援専門員連絡会 | 4回開催（昨年度4回） |
| (1) | 4月19日 | |

ア	内容	市の施策説明、カスタマーハラスメントについて	
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター	85名
(2)	6月13日		
ア	内容	社会資源との連携について	
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター	44名
(3)	9月22日（オンライン）		
ア	内容	介護予防ケアマネジメントについて	
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター	34名
(4)	2月20日		
ア	内容	事例検討会	
イ	参加者	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター	31名

エ 医療と介護の連携

医療と介護の連携強化を目的に、市と天童市東村山郡医師会との合同研修会を開催しました。

1	天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会
(1)	期日 11月24日
(2)	内容
ア	講演 実践で見る医療・介護連携の重要性
	講師 清幸園ケアプランセンター 介護支援専門員 村山正市氏
(3)	参加者 106名
ア	介護サービス事業所 70名（天童市66名、中山町4名）
イ	医師会 9名（事務局2名含む）
ウ	歯科医師会 5名
エ	薬剤師会 5名
オ	行政機関 13名（天童市10名、中山町3名）
カ	地域包括支援センター 4名
2	在宅医療・介護連携室「エール」との連携
(1)	件数 0件（昨年度1件）
ア	医療 0件（昨年度0件）
イ	歯科 0件（昨年度1件）

オ 地域包括支援センター間の連絡調整

市地域包括支援センター間の活動報告や困難事例等の情報共有を行い、連携強化に努めました。

1	市地域包括支援センター合同ミーティング
(1)	開催回数 12回
(2)	参加者 保険給付課、地域包括支援センター（中央・めいこうえん）

(3) 権利擁護事業

高齢者が様々な困難を抱えても、住み慣れた地域で尊厳のある生活を維持し、安心して暮らすことができるよう、権利侵害の予防や、権利侵害に遭っている高齢者の支援を行いました。

ア 消費者被害の防止対策の推進

- | |
|---------------------------------|
| 1 天童市地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年3回） |
| 2 市消費生活センターとの連携（随時） |

イ 成年後見制度・福祉サービス利用援助事業の周知及び利用支援

様々な理由により、判断能力に不安のある高齢者の相談を受け、心身の状態や状況に応じた制度を利用することができるよう支援を行いました。

- | |
|--------------------------|
| 1 成年後見制度申立支援件数 7件（昨年度4件） |
|--------------------------|

ウ 虐待通報への対応

虐待の疑いのある相談内容を行政担当者に連絡するとともに、対応について協議をし、一時的な分離などの緊急対応を行いました。

- | |
|-----------------------------|
| 1 虐待対応件数 延41件（昨年度延14件） |
| 2 虐待の疑いに関する相談 延49件（昨年度延66件） |

(4) 認知症施策の推進

市の委託を受けた認知症地域支援推進員が、権利侵害を受けやすい認知症高齢者対策として、認知症についての住民理解の促進に努めました。また、医療機関や地域の支援機関と連携を図り、認知症の人が住み慣れた環境で安心して暮らし続けることができるよう支援しました。

ア 認知症サポーター養成講座

認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する意識啓発に努めました。

- | |
|------------------------|
| 1 認知症サポーター養成講座 4回 408名 |
| (1) 6月27日 |
| ア 場所 山形県警察学校 |
| イ 対象 初任科（短期課程・長期課程） |
| ウ 参加者 48名 |
| (2) 7月24日 |
| ア 場所 県立天童高等学校 |
| イ 対象 県立天童高等学校3年生生徒 |
| ウ 参加者 130名 |
| (3) 9月15日 |
| ア 場所 市立第二中学校 |
| イ 対象 市立第二中学校2年生生徒・教諭 |
| ウ 参加者 105名 |

(4) 11月20日

ア 場所 市立第四中学校

イ 対象 市立第四中学校2年生生徒・教諭

ウ 参加者 125名

イ 認知症地域支援推進員活動の充実

市及び市地域包括支援センターめいこうえんに配置されている認知症地域支援推進員と定期的に会議を開催し、認知症の方が安心して過ごせる地域づくりのために活動を行いました。

1 認知症地域支援推進員会議参加 10回（昨年度4回）

ウ 認知症初期集中支援チーム（ホオジロ）との連携

認知症初期集中支援チーム会議に参加し、認知症高齢者が適切な医療や介護サービス利用につながるよう、検討及び支援を行いました。

1 ホオジロチーム員会議参加 5回（昨年度10回）

エ 認知症カフェの運営協力

認知症に係るすべての方を対象に認知症の不安や相談等を気軽にできる場及び情報交換の場として、市が月2回開催している「あったかフェテンドウ」への参加・運営協力を努めました。

オ 認知症事前登録申請代行

認知症等により、徘徊、または徘徊するおそれのある高齢者及びその家族を支援することを目的とした認知症事前登録事業への協力支援及び広報活動に努めました。

1 市地域包括支援センター中央エリア登録者数

有効登録数 68名（昨年度61名）

新規登録数 15名（昨年度21名）

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

65歳以上の方々を対象に、その置かれている環境や心身の状況に応じて、必要性に合わせた多様なサービスが提供されるように努めました。

ア 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）

要支援に認定された方及び基本チェックリストで総合事業対象者に判定された方を対象として自立支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメント（ケアプラン作成）を行いました。

介護予防ケアマネジメント合計 2,054件（昨年度2,006件）

1 介護予防ケアマネジメントA 1,942件（昨年度1,901件）

(1) 策定機関

ア 本会 1,648件（昨年度1,589件）

- イ 委託先 294件（昨年度312件）
- (2) 対象サービス
 - ア 訪問型A・通所型A（独自型） 1,844件（昨年度1,846件）
 - イ 通所型C（コツコツ運動教室） 98件（昨年度55件）
- 2 介護予防ケアマネジメントB 111件（昨年度102件）
 - (1) 策定機関
 - ア 本会 111件（昨年度102件）
 - イ 委託先 0件（昨年度0件）
 - (2) 対象サービス
 - ア あっぱれ元気教室 85件（昨年度87件）
 - イ ショッピングリハビリ 26件（昨年度15件）
- 3 介護予防ケアマネジメントC 1件
 - (1) 策定機関
 - ア 本会 1件（昨年度3件）
 - イ 委託先 0件（昨年度0件）
 - (2) 対象サービス
 - ア ふれあい天童 1件（昨年度1件）

イ 加齢を華麗に！さわやか健康教室

一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し、さわやか健康教室を開催しました。

- 1 一般介護予防事業（加齢を華麗に！さわやか健康教室）
 - (1) 開催数 10回（昨年度6回）
 - (2) 参加者 230名（昨年度183名）
 - (3) 開催内容
 - ア 後ろ姿を10歳若く！～癒しのムーブメント～（8月31日・24名）
 - イ 中国四千年の歴史「太極拳」（9月6日・18名）
 - ウ 体力測定で自分の強みと伸びしろを知ろう！～体力測定と軽体操～（9月19日・26名）
 - エ 公民館リゾート・フラダンス（10月10日・25名）
 - オ ラフターヨガ（笑いヨガ）～笑いとお呼吸を組み合わせた健康体操～（10月17日・31名）
 - カ マスクなし・しわなし・たるみなし（11月8日・16名）
 - キ 心と体が目覚めるリズムミクな軽運動 スローエアロビック（11月21日・28名）
 - ク 3Bストレッチでゴーゴーゴー！（12月8日・24名）
 - ケ 食育レクリエーション（12月19日・22名）
 - コ カラダリフレッシュ・ヨーガ（1月16日・16名）

(6) 指定介護予防支援事業

要支援状態であっても、その悪化をできる限り防ぐことを目的に、より効果的なサ

ービスの利用のためのケアプラン作成を行いました。

ア 給付管理の適正化

要支援１・２の認定を受けた方や家族と相談しながら、自立に向けた目標を設定し、適切な介護予防プランの作成・評価に努めました。

イ 業務委託環境の整備

要支援１・２の認定を受けた方の心身の状況を確認し、要支援から要介護状態へ移行する可能性の高い方は、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

- | | | |
|-----|--------------|---------------------|
| 1 | 予防プランに伴う請求件数 | 1, 806件（昨年度1, 791件） |
| (1) | 本会 | 1, 180件（昨年度1, 190件） |
| (2) | 委託 | 626件（昨年度581件） |

(7) 在宅高齢者訪問指導事業(すこやか訪問)

市の委託を受けて、介護保険の認定を受けていない75歳以上の単身高齢者世帯を対象に生活習慣予防や閉じこもり予防、寝たきり予防等について、訪問等により健康状態や生活の様子などを確認し、市の高齢者生活支援事業等の紹介を行いました。

- | | | |
|---|------------|-----|
| 1 | すこやか訪問対象者数 | 50名 |
|---|------------|-----|

(8) 家族介護者のつどいの開催

一般市民で家族の介護をしている方を対象に介護を行っている介護者同士が悩みや思いを打ち明け、共感し合い、情報交換できることを目的として開催しました。

- | | | |
|---|------|-----------|
| 1 | 開催日 | 令和6年2月28日 |
| 2 | 参加者数 | 3名 |

(9) 実習生の受入れ

将来、医療・福祉分野で活躍しようとする学生（山形大学医学部看護学科実習生・県立保健医療大学保健医療学部看護学科実習生）の人材育成や地域包括支援センター業務の理解促進を目的に実習受入しました。

- | | | | |
|---|---------------|-------|--------------------------------|
| 1 | 山形大学医学部附属看護学科 | 実習生2名 | 令和5年6月1日・2日 |
| 2 | 山形県立保健医療大学 | 実習生4名 | 令和6年1月22日～26日
令和6年2月13日～16日 |

5 介護サービス事業所の運営

(1) 天童市居宅介護支援事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業の実施

自立支援や日常生活機能の維持向上を図る事で、利用者の望む生活が継続できるよう、研修会や事例検討会、定期会議等においてケアマネジメントの質の向上に努めました。法令遵守に努め、適切な人員配置やケアプラン作成数等の要件を満たし特定事業所の指定維持を図りました。

- | |
|--------------------------------|
| 1 作成件数 1, 058件 (昨年度1, 107件) |
| (1) 居宅介護支援 891件 (昨年度947件) |
| (2) 予防介護支援・総合事業 167件 (昨年度160件) |

イ 介護保険に関する各機関との連絡調整及び手続代行

病院や施設から在宅生活への円滑な移行を目指し、利用者の状況に応じた環境整備や手続き等により連携を図りました。また、利用者へのより良い支援のため、介護サービスのみならず多様なサービスも含め、関係機関と連絡調整を行いました。

- | |
|------------------------|
| 1 事業所内会議の実施 週1回 |
| 2 打合わせ 全日 |
| 3 研修会への参加 14回 (昨年度11回) |

ウ 要介護認定調査事業

保険者から調査依頼を受けた利用者に対し、生活及び心身の状況が正確に反映できる認定調査に努めました。

- | |
|-------------------|
| 1 市内 40件 (昨年度50件) |
| 2 市外 5件 (昨年度2件) |

エ 他法人の居宅介護支援事業者との共同事例検討会及び研修会の開催

他法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で研修会等を開催して制度やケアマネジメントの理解を深め、介護支援専門員としての資質向上に努めました。

- | |
|------------------|
| 1 4回開催 (昨年度3回開催) |
|------------------|

オ 実習生の受入れ

介護支援専門員実務研修実習受入の協力事業所として実習受入れを行い、実践的なケアマネジメントやプロセス等の指導に努めました。

- | |
|----------|
| 1 実習生 1名 |
|----------|

(2) 天童市訪問介護サービス事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標に近づけるようなサービス提供を目指しました。月1回、全員参加の会議・研修を行い、利用者の情報を共有すると共に介護サービスの質の向上を図り、特定事業所の指定維持に努めました。

- | |
|-----------------------|
| 1 利用者数 511件 (昨年度544件) |
|-----------------------|

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 要支援・総合事業 | 319件（昨年度318件） |
| (2) 要介護 | 192件（昨年度226件） |

イ 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業、同行援護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者毎のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を行いました。特定事業所の指定の維持を図るために、介護保険同様月1回の会議を行い、サービスの質の向上に努めました。

- | | |
|--------|---------------|
| 1 利用者数 | 260件（昨年度286件） |
| 2 実契約数 | 25件（昨年度30件） |

ウ 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

天童市からの委託事業として、障がいを持つ方が地域活動や社会参加のため安心して屋外移動ができるよう外出援助を行いました。

- | | |
|--------|-------------|
| 1 利用者数 | 19件（昨年度17件） |
| 2 実契約数 | 4件（昨年度4件） |

エ 多胎児世帯ヘルパー派遣事業の実施

天童市からの委託事業として、双子以上を養育している保護者が、安心して子育てができるよう支援を行いました。

- | | |
|--------|-------------|
| 1 利用者数 | 10件（昨年度24件） |
| 2 実契約数 | 1件（昨年度3件） |

オ まごころ支援事業(自主事業)の実施

介護保険や障がい福祉サービス事業等が何らかの理由で受けられない場合に、本会の自主事業を利用することで、安心して在宅生活が続けられる支援に努めました。

- | | |
|--------|-------------|
| 1 利用者数 | 16件（昨年度19件） |
| 2 実契約数 | 4件（昨年度6件） |

カ 養育支援訪問事業の実施

天童市からの委託事業として、育児に不安がある保護者に対して、安心して養育できるよう育児や家事援助等の支援を行いました。

- | | |
|--------|------------|
| 1 利用者数 | 11件（昨年度2件） |
| 2 実契約数 | 2件（昨年度1件） |

キ 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

- | | |
|----------------|------------|
| 1 県立天童高等学校 | |
| (1) 前期実習生（3年生） | 8名（昨年度15名） |
| (2) 後期実習生（2年生） | 13名（昨年度8名） |

ク 天童市内訪問介護サービス事業所情報交換会の開催

天童市内の訪問介護サービス事業所全体で在宅介護サービスの充実を図る事を目的に、訪問介護の現状や課題についてアンケート調査を行い、情報の共有を図りました。

また、結果については介護福祉政策に活用していただくため、保険者にも情報提供を行いました。

1 1回開催（昨年度1回）

ケ 運営会議の開催

介護サービス事業の適正な運営継続に向け、本会及び全体の実情を踏まえ今後の運営や事業の方向性について検討しました。

1 2回開催（昨年度3回）

6 天童市総合福祉センターの管理・経営

(1) 施設等の貸出

ア 福祉関連の事業、団体を優先にした貸出実施

福祉関係団体については2ヶ月前、福祉関係以外の団体については1ヶ月前から予約を受け付けし、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に安全に安心して、利用いただけるよう効率的な貸出に努めました。

1 利用団体数（延件数） 3, 039団体（昨年度3, 137団体）

(1) 市関係 303団体（昨年度410団体）

(2) 福祉関係 2, 432団体（昨年度2, 464団体）

(3) その他 304団体（昨年度263団体）

2 利用人数（延人数） 30, 766人（昨年度30, 969人）

(1) 市関係 4, 560人（昨年度5, 773人）

(2) 福祉関係 21, 748人（昨年度20, 705人）

(3) その他 4, 458人（昨年度4, 491人）

※工事に伴い、屋内運動広場は令和5年6月から12月末まで貸出停止

※天童市総合福祉センターの利用状況の詳細は別表1に記載

イ 抽選による受付実施

毎月の予約開始日に予約抽選会を開催し、平等な受付に努めました。

1 抽選日

毎月1日（1日が土・日・祝日の場合は、次の平日となり、1月のみ5日とし、1月5日が土・日・祝日の場合は、次の平日）の午前9時

2 抽選会参加団体 約10団体

ウ 備品貸出事業の実施

無料で備品の貸出を行い、地域福祉や地域活動の振興等に努めました。

- | | | | | |
|---|------------|------|-----|----------|
| 1 | 車イス | 貸出回数 | 72回 | (昨年度82回) |
| 2 | 輪投げセット | 貸出回数 | 8回 | (昨年度7回) |
| 3 | グラウンドゴルフ用具 | 貸出回数 | 6回 | (昨年度5回) |
| 4 | 外用いす及びテーブル | 貸出回数 | 2回 | (昨年度4回) |
| 5 | 集会用テント | | 3回 | (昨年度3回) |

(2) 良好な環境整備

ア 日常点検及び定期的なメンテナンス等による施設の良好な環境整備

毎朝の総合的な施設・設備の点検や月1回の定期清掃、各設備等の定期点検を行い、故障箇所等の早期発見や修繕等の迅速な対応に努めました。

なお、屋内運動広場の大規模工事がありました。工事関係者との連絡を密にして、利用者の安全や快適性に配慮しながら貸館を行いました。

1 修繕等箇所

(1) 本会実施

- ア 貯水槽給水配管ボールタップ交換
- イ 照明LED化（事務室・印刷室・ロビー・学習室・視聴覚室の一部）
- ウ 1階女子トイレウォシュレット交換、
- エ 1階男子トイレ洗面自閉水栓・洗面配管パイプ交換、3階男子トイレレバー修繕、センサー交換
- オ エレベーター機械室換気ファンベルト
- カ 照明スイッチ交換
- キ 女性の部屋冷暖房ファンコイル修繕
- ク ラージボールネット修理

(2) 市実施

- ア 屋内運動広場天井改修その他工事
天井耐震化、照明LED化、床板改修、パネルヒーター撤去及びエアコン（冷暖房）設置、カーテン撤去及びロールスクリーン設置
- イ 外トイレ外壁改修
- ウ 2階階段誘導灯改修
- エ テレビ共同アンテナ・増幅器増設

2 定期清掃

- (1) 内容 全館のワックス塗布
- (2) 回数 月1回

イ 消防総合訓練や発電機の点検等による避難所開設及び災害発生時への対応準備

消火訓練等を行い防火体制の強化に努めました。

- | | |
|-----|---------|
| 1 | 総合消防訓練等 |
| (1) | 4月17日 |

(2) 10月16日

- 2 防火体制 防火対象物点検報告特例認定
- 3 発電機（2台）月1回点検

(3) 同好クラブ事業の内容充実

60歳以上の市民が趣味活動を通して、健康維持や仲間づくりを進められるよう同好クラブの運営を行いました。

ア 囲碁クラブ

- 1 開催回数 延100回
- 2 参加者数 延2,025名

イ コスモスダンスクラブ(社交ダンス)

- 1 開催回数 延29回
- 2 参加者数 延229名

ウ 手芸クラブ

- 1 開催回数 延12回
- 2 参加者数 延134名

エ 俳句クラブ

- 1 開催回数 延12回（内1回はな駒荘にて実施）
- 2 参加者数 延74名

オ 将棋クラブ

- 1 開催回数 延95回
- 2 参加者数 延764名

カ 民踊クラブ

- 1 開催回数 延24回
- 2 参加者数 延153名

7 法人組織の管理・運営等

(1) 法人組織の管理・運営

ア 理事会及び評議員会等の開催

定期的な理事会、評議員会を実施しながら、経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等に努めました。

また、評議員を選任するための組織である評議員選任・解任委員会を開催し、法人

組織の適正な管理、運営に努めました。

- | |
|-------------------------|
| 1 理事会 4回（昨年度4回） |
| (1) 6月7日 |
| (2) 6月22日 |
| (3) 9月20日 |
| (4) 3月14日 |
| 2 評議員会 3回（昨年度3回） |
| (1) 6月22日 |
| (2) 9月28日 |
| (3) 3月22日 |
| 3 評議員選任・解任委員会 1回（昨年度2回） |
| (1) 6月15日 |
| 4 会長・副会長会議 3回（昨年度3回） |
| (1) 5月29日 |
| (2) 9月11日 |
| (3) 3月4日 |

イ 監事による監査の実施

監事による業務執行及び財産の状況の監査により、適正な法人運営に努めました。

- | |
|--------------|
| 1 決算監査 5月22日 |
|--------------|

(2) 苦情解決の推進

苦情解決の推進のため第三者委員を委嘱し、組織体制の整備を図りながら、利用者の権利を擁護するとともに提供するサービスの向上に努めました。

- | |
|-------------------|
| 1 苦情の件数 0件（昨年度0件） |
|-------------------|

(3) 自主財源の確保

会員や社会福祉基金等の増強のため、広報チラシの市内全戸配布等を行い広報活動を推進しました。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 会費 |
| (1) 世帯数 17,018世帯（昨年度16,977世帯） |
| (2) 会費額 11,912,600円（昨年度11,883,500円） |
| 2 社会福祉基金 |
| (1) 件数 1件（昨年度1件） |
| (2) 金額 10,000円（昨年度10,000円） |
| 3 地域福祉事業のための寄付金 |
| (1) 件数 1件（昨年度3件） |
| (2) 金額 3,000円（昨年度325,000円） |
| 4 共同募金 |

- | |
|--|
| (1) 共同募金配分金 5, 024, 328円 (昨年度4, 959, 549円) |
| (2) 地域福祉活動配分金 8, 150円 (昨年度162, 020円) |
| (3) 赤い羽根寄付金付き自動販売機販売手数料 14, 261円 (昨年度12, 171円) |

(4) 地域における公益的な取組の推進

社会福祉法人の責務として、社会福祉法に定められている日常生活、社会生活上の支援を必要とする方に対して、無料または低額の料金で行う福祉サービスを積極的に提供しました。

- | |
|---|
| 1 たすけあい資金貸付事業 低所得世帯に対する無利子の独自資金貸付 |
| 2 フードバンク・フードドライブ事業 市民から寄付を受けた食品等を本会・NPO団体を通じ、生活困窮者や新型コロナ感染症の自宅療養者等へ提供 |
| 3 まごころ支援事業 介護保険等に該当しない方へ訪問介護サービスを提供する |
| 4 法人後見事業 意思決定が困難な方の財産管理、身上監護を行い、権利を擁護する |

(5) 法人事業の広報

多くの市民の方々から本会事業を理解していただき、福祉活動に関心をもっていただけるよう、ホームページ、SNSを活用した情報提供に努めました。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 市報てんどう・新聞各社・コミュニティ情報誌への記事提供 |
| 2 ホームページの開設、情報掲載 |
| 3 X (旧ツイッター)、ユーチューブチャンネルアカウント開設、情報掲載 |

(6) 職員の資質向上及び福利厚生

ア 定例会及び係長等会議の開催

毎月、定例会及び係長等会議を開催し係間の連携、連絡調整を図り、狭間のない業務執行やサービス提供に努めました。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 定例会 |
| (1) 参加者 6名 (会長、事務局長、事務局次長、主幹、係長) |
| (2) 回数 月1回開催 |
| 2 係長等会議 |
| (1) 参加者 9名 (事務局長、事務局次長、主幹、係長、主査、主任) |
| (2) 回数 月1回開催 |

イ 各種研修会への参加及び開催

外部で開催されるオンラインを含めた研修会等への積極的な参加により、職員の資質向上に努めました。また、独自に研修会を開催し、専門的な知識や技能等を高めま

した。

1 内部研修会等 10回 236名 ※定期的に開催する(8)(9)を除く
(昨年度10回213名)

(1) 消防訓練等

ア 消火訓練

(ア) 期日 4月17日

(イ) 講師 天童市消防本部・浅野防災

(ウ) 参加者 40名

イ 消防総合訓練

(ア) 期日 10月16日

(イ) 講師 浅野防災

(ウ) 参加者 40名

(2) 新任職員研修会

ア 期日 5月18日

イ 講師 本会職員

ウ 参加者 3名

(3) 一般応急手当講習会

ア 期日 2月14日・29日

イ 講師 天童市消防本部

ウ 参加者 46名

(4) 総務研修会

ア 消費税インボイス制度研修

(ア) 期日 10月(係ごと実施)

(イ) 講師 本会総務係主査

(ウ) 参加者 29名

イ 電子帳簿保存法研修

(ア) 期日 1月(係ごと実施)

(イ) 講師 本会総務係主査

(ウ) 参加者 29名

(5) 福祉サービス利用援助事業生活支援員等研修会

ア 「福祉サービス利用援助事業とは～生活支援員の心得について」

(ア) 期日 7月24日

(イ) 講師 社会福祉法人山形県社会福祉協議会職員

(ウ) 参加者 8名

イ 「一般応急手当講習会」

(ア) 期日 2月14日

(イ) 講師 天童市消防本部

(ウ) 参加者 3名

(6) 介護サービス係研修会「メンタルヘルス支援」

ア 期日 10月6日

イ 講師 トータル・カウンセリング・スクール講師

ウ 参加者 20名

- (7) 介護サービス事業所運営会議
 - ア 回数 2回（8月22日・12月18日）
 - イ 参加者 各回9名
- (8) 居宅介護支援事業所会議
 - ア 回数 52回（週1回）
 - イ 参加者 各回3名
- (9) 訪問介護サービス事業所会議
 - ア 定期会議
 - (ア) 回数 12回（月1回）
 - (イ) 参加者 各回18名
 - イ 定期研修
 - (ア) 回数 12回（月1回）
 - (イ) 参加者 各回18名
 - ウ 個人研修
 - (ア) 回数 5回
 - (イ) 参加者 各回5名
- 2 外部研修会等 ※オンライン研修含む
 - (1) 開催回数 253回（昨年度234回）
 - (2) 参加職員 475名（昨年度519名）

ウ 安全衛生委員会の開催や健康診断等の助成

労働災害等の予防及び職員の健康保持増進のために、産業医を委嘱し、職員の安全衛生に取り組みました。

- 1 安全衛生委員会
 - (1) 参加者 7名（鞍掛彰秀産業医、局長、次長、各係長他）
 - (2) 開催回数 6回
- 2 インフルエンザ予防接種費用の助成
- 3 健康診断の実施
- 4 ラージボール交流会

エ 事業継続計画書（BCP）の理解と運用

有事に本会が提供する福祉サービスを安定的、継続的に提供し、中断した場合も早期再開を実現するため、法人としての災害発生時の事業継続計画書に続き、事業所単位で感染症発生時の事業計画書の作成を行いました。

- 1 感染症発生時の事業継続計画書作成（事業所単位） 3月

〈別表1〉

令和5年度天童市総合福祉センター利用状況

令和5年4月～令和6年3月

区分 月別	利用団体数(単位:団体)				利用人数(単位:人)			
	市関係	福祉関係	その他	計	市関係	福祉関係	その他	計
4	41	190	23	254	698	1,572	387	2,657
5	25	217	23	265	357	1,926	419	2,702
6	21	200	24	245	306	1,278	319	1,903
7	34	180	40	254	431	1,328	552	2,311
8	29	186	19	234	398	1,250	239	1,887
9	38	172	27	237	421	1,247	267	1,935
10	35	223	28	286	540	4,667	477	5,684
11	22	192	21	235	291	1,257	212	1,760
12	12	193	15	220	172	1,551	152	1,875
1	15	211	20	246	527	1,669	384	2,580
2	15	240	24	279	218	2,187	385	2,790
3	16	228	40	284	201	1,816	665	2,682
計	303	2,432	304	3,039	4,560	21,748	4,458	30,766
令和4年度 4月～3月	410	2,464	263	3,137	5,773	20,705	4,491	30,969
前年度比	△ 107	△ 32	41	△ 98	△ 1,213	1,043	△ 33	△ 203

※R5.5/8～新型コロナ5類へ移行

※R5.6/1～12/31屋内運動広場改修工事の為貸出中止

※R6.1月～屋内運動広場貸出再開